

# プレッシャーとイップスに関する運動制御研究



## 田中美吏（たなかよしふみ）先生

武庫川女子大学健康・スポーツ科学部  
同大学健康・スポーツ科学研究科 講師

<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~tnk.lab/index.html>

[https://www.researchgate.net/profile/Yoshifumi\\_Tanaka3](https://www.researchgate.net/profile/Yoshifumi_Tanaka3)

## 日時と場所

2018年9月21日（金） 17:00-18:30

大阪大学豊中キャンパス

健康体育研究棟2階セミナー室（予定）

19:00-より石橋周辺で懇親会

## 参加について

どなたでも参加いただけます。  
参加者数把握にご協力ください。  
メールにて

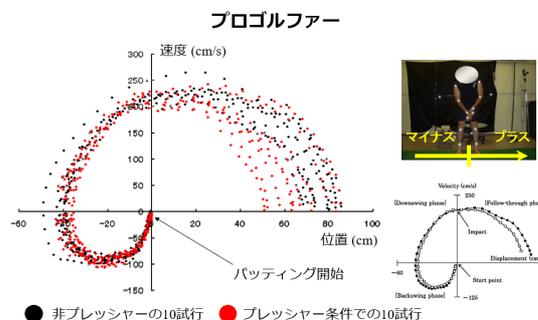
[oubmc@hss.osaka-u.ac.jp](mailto:oubmc@hss.osaka-u.ac.jp)

にセミナー（無料）、懇親会（有料）の  
それぞれの申し込みをお願いします。

申し込み締め切りは9月14日（金）です。

心理的なプレッシャーの影響で自己の有する実力を発揮できない現象は「チョーキング」や「あがり」と呼ばれる。多くのスポーツ選手が抱えるこの問題に対し、古くから多大な研究が行われてきたが、近年においては運動スキル遂行時の視知覚、視線行動、中枢神経活動、筋活動、キネマティクス、姿勢制御などを計測することで、この問題に内在する運動制御メカニズムを調べる研究が国内外で急増している。本発表では、私自身の研究も含めながら<sup>1-4)</sup>、プレッシャー下における運動制御メカニズムを解明することを目的とした諸研究を解説する。

さらに、野球やソフトボールの投・送球、ゴルフのパッティングに代表されるように、イップスも多くのスポーツ選手が抱える悩みの1つである。しかし、上記のプレッシャーに関する研究に比べ、スポーツ選手のイップスをテーマとした研究数は、国内外を見渡しても極めて少ない。イップスが生じる原因には、心因性と神経性の両方があると提唱されているが、数少ない研究の中から、イップスに関する運動制御研究も紹介する。プレッシャーとイップスによるパフォーマンスの低下について、運動制御の観点から詳細な理解が図れることを目標に、有益な情報提供になるよう努めたい。



1) Tanaka, Y., and Sekiya, H. (2010) The influence of audience and monetary reward on putting kinematics of expert and novice golfers. *Research Quarterly for Exercise and Sport*, 81, 416-424.

2) Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., Sasaki, J., and Takemoto, T. (2011) Multiple EMG activity and intracortical inhibition and facilitation during a fine finger movement under pressure. *Journal of Motor Behavior*, 43, 73-81.

3) Tanaka, Y. (2015) Spinal reflexes during postural control under psychological pressure. *Motor Control*, 19, 242-249.

4) Tanaka, Y., Sasaki, J., Karakida, K., Goto, K., Tanaka, Y.M., and Murayama, T. (2018) Psychological pressure distorts high jumpers' perception of the height of the bar. *Journal of Functional Morphology and Kinesiology*, 3(2), 29.